

事業番号	10 02 02	事業改善シート(30年度実施事業分)	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
		実施期間	S48 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性、家計可処分所得、就業率					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造				
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○本県の森林が育てる時代から利用する時代を迎え、搬出間伐等による素材生産の本格化、県産材供給体制の整備等により、素材生産量は着実に増加する一方で、林業就業者数は減少傾向にある。 ○林業就業者の雇用は、林業作業の季節性や事業主の経営基盤のせい弱性により必ずしも安定しておらず、労働災害発生件数は減少しているものの発生率は全産業平均の約15倍と高い。	30年度 決算額	84,116 千円
		職員数	3.79 人
目指す姿	○新規林業就業者の安定的確保(R4年度林業就業者数目標:2,200人) ○高度な知識・技術の習得、地域で中核となる人材の育成 ○林業就業者定着のための林業事業体の雇用改善・経営合理化の促進、労働安全性の向上 ○林業就業者の安定的確保、生産性の向上、林業事業体の経営改善に伴う本県の素材生産量の増大(R2年度目標:750千m3) (主な実施内容:森林組合検査、林業事業体経営改善支援、新規林業就業者確保、高度な知識・技術を有する就業者の育成 など)		

事業	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況					
	29年度	30年度	令和元年度		No	成果指標	29年度	30年度		
コスト	前年度繰越	0	0	0	①	林業就業者数(人)	1,594	目標値	1,720	達成状況
	当初予算	139,770	155,212	156,926				集計中(9月)		
	補正予算	-53,550	-65,300		②	新規林業就業者の1年定着率(%)	88.0	前年度より向上	集計中(9月)	
	合計(A)	86,220	89,912	156,926				未達成		
	一般財源	12,900	12,738	12,795						
	Aの財源	県債	0	0	0	③	素材生産量(千m3)	541	552	540
		国庫支出金	16,875	13,521	1,007					
		その他	56,445	63,653	143,124					
		決算額(B)	82,202	84,116						
	ト	概算人件費	職員数(人)	3.59	3.79	3.88				
概算人件費(C)		29,086	31,146	31,886						
概算事業費(B(A)+C)		111,288	115,262	188,812						
備考					成果指標 設定理由	①林業就業者の安定的確保・定着を図るため成果目標に設定 ②林業就業者の定着を図るため成果目標に設定 ③林業就業者の安定的確保・育成や林業事業体の経営改善等による生産性の向上を図るため本県の素材生産量を成果目標に設定				

目標に対する成果の状況	○平成30年度の林業就業者数、新規就業者数の定着率は未確定であるが、平成29年度に就業者数が減少していることもあり、目標達成は困難な状況。 ○素材生産量は540千m3となり目標を下回っている。主な要因としては、林業就業者数が目標を下回っている状況や、木質バイオマス生産量の減少などが影響しているものと考えられる。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	課題	今後の方向性
	○林業従事者数の減少傾向に歯止めがかからない状況。 ○また、里山では不在村所有者の森林増加等で森林管理の空洞化が一層深刻さを増しており、単に整備を行う人材だけでは、県民に身近な森林整備が進まない状況。 ○森林資源は充実するも、現状では林業の収益性は低く、森林資源の効率的な利用が進んでいないため、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産ができる林業事業体等の育成が必要。	○県内の林業労働力に係る情勢を注視しつつ、必要に応じて目標の見直しを行いながら、林業就業者確保に向けた事業を確実に実施。 ○持続的に里山を管理するため、里山整備利用地域における活動主体となる「里山整備利用推進協議会」に対し、地域のリーダー役となり関係者をコーディネートする人材育成を実施。 ○森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産を図るため、ICT等の先端技術を利用した「スマート林業」を構築し、県内の林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。	

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクトNo	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数(人)	平成30年度		令和元年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1	-	森林組合等活性化対策事業	○森林組合法に基づく常例検査の実施(18組合) ○生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のため助言・指導(1団体、2回)	1.64	972	971	929
2	-	スマート林業構築普及事業	○ドローンを利用した森林情報把握モデル委託事業実施 → 事業スキーム変更により国から協議会へ直接交付され実施	0.20	15,830	0	18,135
3	-	林業労働力対策事業	○林業就業共同就職説明会・雇用管理者研修会等の開催(17回) ○林業労働力確保支援センターの人件費補助	0.22	6,788	6,788	6,797
4	-	林業就業支援事業	○林業大学の給付対象者10人に対し、一人あたり1,037千円ずつ資金を給付	0.18	29,655	10,544	29,693
5	-	林業就労条件整備促進事業	○退職金共済掛金や蜂アレルギー・振動病等の検査・健診経費の一部を助成(1407人)	0.04	13,798	13,798	13,756
6	-	林業労働災害防止対策事業	○林業労働災害防止のための巡回指導(32回)、労働安全衛生対策セミナー等の開催(2回)	0.04	732	732	729
7	-	林業士等養成事業	○森林・林業セミナーの開催(46日間・15人) ○林業士入門講座の開催、林業士の養成(3人)	0.70	520	520	540
8	-	里山整備利活用地域リーダー育成事業	○里山整備利用地域リーダー研修会(技術、安全講習内容を含む)を6回開催	0.28	2,751	623	2,611
9	-	林業改善資金貸付金	○林業用施設・機械等の導入に必要な資金として年間3件、48,474千円の貸付を実施	0.24	80,000	48,474	60,000
10	-	林業就業促進資金貸付金	○(一財)長野県林業労働財団において、年間4件、2,900千円の貸付を実施(財源不足が生じなかったため県から財団への貸付なし)	0.05	2,500	0	14,500
11	-	森林組合経営改善支援事業	○県内各組合の課題に応じた専門家を派遣し経営改善等について診断・指導した(5組合実施)	0.20	1,666	1,666	1,783
12	-	持続的な林業経営の確立支援事業	—				7,453
合計				3.79	155,212	84,116	156,926

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業者支援事業			部局	林務部	課・室	信州の木活用課				
10 02 02												
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
1	森林組合等活性化対策事業	森林組合、生産森林組合等に対する検査・助言・指導	直接	○森林組合法に基づく常例検査の実施(18組合) ○生産森林組合・入会林野管理団体の管理・経営改善のため助言・指導(2団体)	○森林組合法に基づく常例検査の実施(18組合) ○生産森林組合・入会林野管理団体の管理・経営改善のため助言・指導(1団体、2回)	計画通り ○	908	972	972		971	
2	スマート林業構築普及事業	「スマート林業」を実現するための先進的取組推進	委託	○ドローンを利用した森林情報把握モデル委託事業 →国事業スキーム変更により国から協議会へ直接補助	-	未実施 ×	-	17,990	15,830	-15,830	0	
3	林業労働力対策事業	林業就業者確保、林業事業者支援、林業労働力確保支援センターの運営支援	補助金	○林業就業者確保、林業事業者合理化のため、共同就職説明会・雇用管理者研修会等を開催(7回) ○林業労働力確保支援センターの件費補助	○林業就業者確保、林業事業者合理化のため、共同就職説明会・雇用管理者研修会等を開催(17回) ○林業労働力確保支援センターの件費補助	計画通り ○	6,877	6,760	6,760		6,760	
3	林業労働力対策事業	林業事業者経営基盤強化並びに雇用管理の改善計画の認定	直接	○事業の効率化と雇用管理体制の改善を一体的に行う事業者を認定(H30更新予定11事業者)	○事業の効率化と雇用管理体制の改善を一体的に行う事業者を認定(H30認定9事業者)	計画通り ○	28	28	28		28	
4	林業就業支援事業	林業就業に必要な資金給付	直接	○林業就業者確保のため、林業大学の学生に林業就業に必要な資金を給付(給付対象人数20人、一人当たり上限1,375千円)	○給付対象者10人に対し、一人当たり1,037千円ずつ資金を給付	計画未済 △	32,103	29,655	29,655	-17,130	10,544	
5	林業就労条件整備促進事業	林業就業者の就労条件改善	補助金	○林業事業者の就労条件改善と林業就業者定着のため、退職金共済掛金(H29実績649人)や蜂アレルギー・振動病等の検査・健診経費(H29実績693人)の一部を助成	○林業事業者の就労条件改善と林業就業者定着のため、退職金共済掛金(671人)や蜂アレルギー・振動病等の検査・健診経費(736人)の一部を助成	計画通り ○	13,850	13,798	13,798		13,798	
6	林業労働災害防止対策事業	林業労働災害の防止対策	補助金	○林業労働災害を防止するための巡回指導(20回)、労働安全衛生対策セミナー(2回)等を開催	○林業労働災害を防止するための巡回指導(32回)、労働安全衛生対策セミナー(2回)を開催	計画通り ○	736	732	732		732	
7	林業士等養成事業	林業士の養成	直接	○林業士を養成するため、森林・林業セミナー・林業士入門講座を開催(46日間・30人)	○森林・林業セミナーの開催(46日間・15人) ○林業士入門講座の開催、林業士の養成(3人)	計画通り ○	520	520	520		520	
8	里山整備利活用地域リーダー育成事業	里山利活用地域活動支援のための人材育成	委託	○里山整備利活用地域リーダー研修会を6回開催 ○里山活用の技術、安全講習を10回開催	○里山整備利活用地域リーダー研修会(技術、安全講習内容を含む)を6回開催	計画未済 △	-	2,751	2,751	-1,340	623	
9	林業改善資金貸付金	林業経営改善に必要な資金貸付	貸付金	○林業生産力の増大・林業就業者の福祉向上のため、林業用施設・機械等の導入に必要な資金を林業事業者等に貸し付ける。(貸付枠として80,000千円を確保)	○年間で3件、48,474千円の貸付を実施	計画通り ○	80,000	80,000	80,000	-31,000	48,474	
10	林業就業促進資金貸付金	林業就業に必要な資金貸付	貸付金	○林業就業者確保のため、(一財)長野県林業労働財団を通じて林業就業に必要な資金を貸し付ける。(県から当該団体への貸付枠2,500千円を確保)	○(一財)長野県林業労働財団において、年間4件、2,900千円の貸付を実施(県から財団への貸付は、財源に不足が生じなかったためなし)	計画通り ○	3,000	2,500	2,500	0	0	
11	森林組合経営改善支援事業	森林組合の経営改善支援	補助金	○森林組合の健全かつ自立的な事業運営を促進するため、各組合の課題に応じた専門家を派遣し経営改善等について診断・指導する(5組合)	○森林組合の健全かつ自立的な事業運営を促進するため、各組合の課題に応じた専門家を派遣し経営改善等について診断・指導した(5組合実施)	計画通り ○	1,748	1,666	1,666		1,666	
12	持続的な林業経営の確立支援事業	民間事業者の経営改善支援	委託									
12	持続的な林業経営の確立支援事業	研修機材の購入	直接									
合 計								139,770	157,372	155,212	-65,300	84,116